

迷った夜に思い出す子どもの脳を育てるヒント

『子どもの脳は、教えなくても育つ』より

はじめに

子育ての中では、「これでよかったのかな」と思う夜があります。
そんなとき、思い出してほしい言葉をこの小さな資料にまとめました。

本書のエッセンス

第1章

不安は、親のセンサー

不安があるのは、子どもを大切に思っている証拠。

第2章

子どもの脳は「履歴」で育つ

教えたことより、体験したことが残る。

第3章

便利さと刺激

生活が快適になるほど、脳への刺激は減ることもある。

第4章

感じる時間

違和感や失敗も、脳にとって大切な刺激。

第5章

脳が欲しがる5つの体験

- ・ やってみる
- ・ うまくいかない
- ・ 身体を使う

- ・ 予測が外れる

- ・ 人とのズレ

第6章

子育ては再設計できる

何かを足すより、削りすぎないこと。

第7章

0〜3歳に足りなかったものはない

生きていること自体が、脳への刺激。

第8章

不安があっても進める

正解がなくても、関わり続けられればいい。

最後に

迷った夜にこの言葉を思い出してください。

答えを急がなくていい。

子どもは、そのままでいい。

出典

『子どもの脳は、教えなくても育つ』

森本秀樹 × 鎌田怜那